

# 令和5年度自己評価と学校関係者評価

## — 当園知的教材研究、指導講師（平田匡邦先生）による評価

幼稚園教育課程と保育指針の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園がこれから担う役割について検討する。

重点項目	具体的な取り組み	自己評価と課題	平田先生
<p>幼稚園教育要領、保育指針を理解し、教育課程、保育課程の編成と実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を踏まえながらも熱中症予防のために子どもたちのマスク着用を自由にする。</li> <li>・日常的な子どもたちの感染予防(手洗い・うがい)や衛生管理を継続する。</li> <li>・保育参観や行事の実施方法についても、徐々に人数制限等を緩める方向で検討する。</li> <li>・カリキュラムは、毎回適切なねらいを定め、挑戦する意欲と達成感が味わえるよう、子どもが喜んで進めていけるよう一日の流れや活動の展開の仕方を工夫する。</li> <li>・しっかりと栄養バランスを取って体力をつけ、健康な体をつくる。</li> <li>・普段食卓に並ぶ野菜がどうやってできるのか観察し育てることで、親しみを持って食べようとする。</li> </ul>	<p>【感染対策 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染が収まる中、マスク着用に関しては、保護者の意向を尊重した。</li> <li>・手洗い、うがい、換気を十分行うよう心がけた。</li> <li>・登園時の検温は継続して行った。</li> </ul> <p>【行事 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分散参観を行っていて、1クラス5～10人ぐらいで、ゆったり観てもらった。</li> <li>・保護者・園双方の思いを盛り込み、子どもたちのための力が発揮できるよう、プログラムを検討した。</li> <li>・年度末には各学年の1年の取り組みの成果が見て取れた。</li> </ul> <p>【カリキュラム 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差を考慮して、補助的なものを用意したり、さらに目標を上げた課題をしたり、それぞれの子どもに合った学びができるよう工夫した。</li> </ul> <p>【食育 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベランダでプランター菜園を行い、日々の水やりをする中で、観察記録としてクラスで絵を描いた。</li> <li>・育てている野菜について図鑑を広げて詳しく調べてみたり、制作をしたり、関心を高めた。</li> <li>・給食時に、育てている野菜と同じ物が出た時に</li> </ul>	<p>&lt;感染対策他&gt;</p> <p>夏季は高温による熱中症、コロナの感染拡大、食中毒など多くの病気が発生します。</p> <p>手洗い・うがい・消毒・水分補給・換気など、緩めることなく徹底しましょう。何故しなくてはならないのかを納得すれば、ちゃんとして励行してくれます。登園時では、園児自ら体温計測ができるようになってきていることに感心しています。見守り、褒めながら実践しましょう。</p> <p>&lt;行事&gt;</p> <p>保護者がゆったり観てもらえる少人数の分散参加は、とても良いと思います。子どもたちも落ち着いて保育に取り組むことができます。保護者も部分的に参加できるような楽しいプログラムがあるといいですね。</p> <p>&lt;カリキュラム&gt;</p> <p>「どうにかしてあげたい・・・」個人差に対応した保育を積極的に実践する姿勢に好感が持てます。普段の一人ひとりの観察がしっかりできているからです。</p> <p>&lt;食育&gt;</p> <p>野菜栽培では、種の色や形、植えるときの深さや水遣り等、初めて経験することがいっぱいです。芽が出てきた時の感動、実がなった時は</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の特別配慮を必要とする子どもの個々の特性を知り、それぞれの子どもについての理解と関わり方を皆で考え共有する。</li> <li>・園での様子と家での様子を共有しつつ、面談を行い、保護者の心労を軽減できるよう努める。</li> <li>・毎日の預かり保育では、普段と違うクラスや学年の子どもたちと交流し、子どもたちの気持ちが安定して、ゆったり過ごすことができるように、環境設定や遊び方を考える。</li> </ul>	<p>はみんなで喜び、じっくりみたり食したりすることを楽しんだ。</p> <p><b>【特別支援 評価 B】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な子は担当を決め、毎日の様子を記録してもらい、それを読んで子どものことを皆で知り合い、協力して見守っていった。</li> <li>・カウンセラーや子育て支援保育士と保護者との懇談も行い、家での様子、園での様子を共有しながら、子どものことを理解追究していった。</li> <li>・仕事をしながら子育てをする家庭が増えており、一人で悩んで疲弊している保護者もかなりおられることを知り、さまざまな支援が必要だと感じた。</li> </ul> <p><b>【預かり保育 評価 B】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり担当の先生と担任との会議を設け、お互いの状況などを伝えあった。</li> </ul>	<p>どんなに嬉しいことでしょう。水遣りなどのお世話をすることの大切さや食育などにも繋がります。感動体験をいっぱいし、「なぜ？どうして？」という興味・関心を「自分で調べる子ども」の育成に邁進して欲しいと願っています。</p> <p>&lt;特別支援&gt; 子どもに関わる全ての関係者との情報共有は、とても大切です。みんなで知ること、今後の保育のあり方や対応がより可能になります。保護者対応では、まず悩みを聞いてあげることが大事だと思います。</p> <p>&lt;預かり保育&gt; 一人っ子の家庭が多い中、友だちをはじめ、異年齢との良好な人間関係が構築できるよう、内容や環境づくりを引き続きお願いします。</p>
<p>保育の在り方、子どもへの対応の仕方の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で子どもたちを迎え、頑張って登園してきたこと労う。保護者への挨拶・言葉がけもしっかりする。</li> <li>・自分の持ち物やおもちゃや教具を丁寧に扱う。準備や後片付けの習慣ができるよう、動線を考える。</li> <li>・身だしなみを整え、姿勢を整えることで、気持ちを落ち着かせ、保育に集中する。</li> <li>・子どもの意思・意見を表現できる環境・雰囲気づくりに気を配る。</li> <li>・子どもの興味関心、好奇心をくみ取り、もっとやりたい、知りたいという意欲を引き出す。</li> </ul>	<p><b>【挨拶 評価 B】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生からしっかり子どもの顔を見て挨拶をする。保護者にも元気に明るく挨拶し、保護者同士にも挨拶の輪が広がることを願った。</li> <li>・普段から自発的に挨拶することで、来園者の方々にも自分からできるよう促していった。</li> </ul> <p><b>【身の回りの管理や準備、片付け、身だしなみ 評価 A】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の身支度を自分なりにじっくり取り組み、徐々にさっさとできるよう声掛けしてがんばってもらった。</li> <li>・用品の準備、片付けは、お友達と一緒に丁寧にしていた。</li> <li>・帰りには、シャツやえり、靴下など身だしなみをきちんと整えた。</li> </ul> <p><b>【教育保育の在り方・環境 評価 A】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の自由遊びの時に子どもたちと話しながら、その日の子どもの様子を伺い、コミュニケーションをとった。</li> <li>・子どもと一緒に活動の内容を考えたり、さまざま</li> </ul>	<p>&lt;挨拶&gt; 挨拶はその仕方とどんなシーンでどんな言葉の挨拶をするかがポイントです。先生の多様な挨拶は子どもたちのお手本ともなります。いろいろなシーンで積極的に明るく元気よく挨拶することを心がけましょう。</p> <p>&lt;身の回りの管理や準備、片付けなど&gt; 「見てあげるから自分で頑張る」先生の見守りは、子どもを勇気づけ、安心して自分でする意欲に繋がります。「できた」喜びを一緒にシェアし、何事にも自分で挑戦できるよう、できる限りの見守りや「どうしてうまくできたか」等の具体的なほめをいっぱいしてあげましょう。</p> <p>一つのことができるようになると自信や自己肯定感が芽生え、他のことも自分でやろうという気持ちになります。いろいろな準備や片付けなども「自分からやる気持ち」が大切なのではな</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図せず傷つけるかもしれない言葉遣いを避け、伝え方、声のトーン、言葉をかけるタイミングを配慮する。</li> </ul>	<p>まな選択肢を与えたり、子どもの思いや意見を取り入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会議を取り入れ、いろいろなテーマで子どもが考えていることを発言した。子どもたちそれぞれの意外な面が見えて、子ども同士にも刺激になったようである。</li> </ul> <p><b>【子どもとの接し方 評価 A】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝や帰りの挨拶の際に、子どもの声の大きさ、表情などにも注視し、体調や気持ちの変調に気づけるよう気を配った。</li> <li>・遊びの中で、1人である子に声掛けをして、一緒に遊びながら他の友だちの輪に入っていくよう配慮した。</li> <li>・言葉遣いは丁寧にするよう心掛けた。</li> </ul>	<p>いでしょうか。</p> <p>&lt;教育保育の在り方・環境&gt;</p> <p>子ども会議は、とても良い試みだと思います。</p> <p>「自分はこのように考えています」自分の考えを整理し、クラスのお友だちの前で堂々と自分の考えを発言するのはなんと素晴らしいことなのでしょう。勇気も必要です。また、他の子どもの考えを聞くことで、お互いの考えを尊重し、自分の考えを再考する経験にも繋がります。普段とは違う子どもの側面も見ることができます。積極的に保育に取り入れてください。</p>
<p>保護者との連携、信頼関係、子育て支援の強化 地域住民との相互理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園日より、クラス便り、保健だよりの発行</li> <li>・ホームページに、お知らせや行事、日常保育の様子を掲載</li> <li>・各クラスの動画配信</li> <li>・アプリを使った緊急メール配信、連絡案内のお便りページ</li> <li>・分散参観、個人懇談</li> <li>・保護者からの電話相談</li> <li>・子育てに関する悩み、家庭での悩みを相談することのできるスクールカウンセリング</li> <li>・保育士による子育て情報交換会、個人面談</li> <li>・未就園児教室、保育体験、園庭開放</li> <li>・地域の子どもたちの一時預かり</li> <li>・行事前の近隣の方々への配慮、挨拶まわり、お礼</li> <li>・幼年消防クラブの「発会式」「花火指導」「防火パレード」</li> <li>・母の会役員会</li> </ul>	<p><b>【保護者への情報発信 評価 A】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の保育の様子や子どもたちの表情をカメラで写し、動画配信をしてゆっくり観てもらっている。</li> <li>・ペーパーレスを進めているので、大事なこと、急ぎがあればアプリで配信している。</li> <li>・懇談時には、家での様子、園での様子を伝え聞き、これからの保育に反映させていただいている。</li> </ul> <p><b>【保護者の子育て相談・情報交換会 評価 A】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一か月に1回、専門の心理の先生に来ていただき、希望の保護者との面談を行っている。</li> <li>・子育て支援担当の保育士も、保護者が気軽に面談できる場を作り、その日までに、子どものクラスに入ってしっかり子どもの状況を把握する。面談が終わると、保護者から聞いた話を担任や全職員と共有し、子どものために役立てている。</li> </ul> <p><b>【地域住民との相互理解 評価 B】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等では、音や声で迷惑をかけることもあるので、前もって近隣にお手紙を配布して理解をいただいた。</li> <li>・隣接しているお宅の前の道は毎日清掃している。</li> </ul>	<p>&lt;保護者への情報発信&gt;</p> <p>目的、内容、緊急度、コミュニケーション方法等、情報発信をいろいろな手段で工夫がなされています。</p> <p>情報を受け取る保護者の媒体（端末）も多様化していますので、その確認も大事だと思います。</p> <p>また、電話や直接のコミュニケーションもできる限りして欲しいと思います。</p> <p>&lt;保護者の子育て相談・情報交換会&gt;</p> <p>子育ての専門の方々からいろいろな角度から客観的に子どもを見ていただくことは大賛成です。</p> <p>子どもの状態を確認・共有したり、アドバイスをいただくことは、明日への保育に直結します。</p> <p>専門の先生との子育て相談は、保護者の悩みをお聞きする場として大いに推進してください。</p> <p>&lt;地域住民との相互理解&gt;</p> <p>地域住民の理解があつてこそ園活動が可能になります。近隣対策では、常に何が大切かを職員間で相談し合い、すぐに行動に移しましょう。</p>

<p>安全管理と施設設備の点検、補修、管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正門その他の場所での防犯カメラの設置</li> <li>・毎月、(火災・地震・不審者・Jアラートなど)の避難訓練の実施</li> <li>・遊具施設や危険箇所を毎日確認</li> <li>・故障のすみやかな補修</li> <li>・災害危険、特別警報等の緊急時のマニュアルの確認</li> <li>・消毒清掃で傷んだ廊下、保育室の床の補修</li> </ul>	<p>【安全管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターホンが鳴ると、カメラをチェックして、来園者の確認をしている。来園者は玄関で対応している。</li> <li>・遊具のネジなど緩んでないか毎日点検し、園内外に不審物などないか、見回りをしている。</li> </ul> <p>【避難訓練 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、地震・火災・不審者・Jアラート・園児引き渡しなどの訓練を時間やパターンを変えて行っている。年に2、3回消防署、警察署の方に訓練を見ていただき、指導を仰いでいる。</li> <li>・訓練後は反省会をして、次回に生かせるよう見直しをしている。</li> </ul> <p>【施設管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の施設で不具合の所があれば、担任や係の者が報告書を書き、自分たちで修理したり、運転手さんや業者の方に直してもらっている。</li> </ul>	<p>&lt;安全管理&gt;</p> <p>不審者の侵入には、管理体制がしっかりできていると思わせることが大切です。カメラだけでなく、変わったことはないか周囲を巡回することも大事かと思えます。また、万が一の不測事態に備え、知恵を出し合っている限りのシミュレーションを実施しましょう。</p> <p>&lt;避難訓練&gt;</p> <p>基本的な避難訓練が行動できるようになれば、次のステップとして、「予告なき訓練」をぜひ実施してみてください。</p> <p>&lt;施設管理&gt;</p> <p>子どもたちの動線を日頃から観察し、点検・対策を講じましょう。夏場の遊具は高温になるので、近寄らない・触らないことを伝えましょう。</p>
<p>子どもの健康と安全への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園時の検温・消毒・マスク着用のチェック</li> <li>・通園バスでの検温・消毒の徹底</li> <li>・個人の成長記録(いろんな分野)</li> <li>・内科・眼科・耳鼻科・歯科検診</li> <li>・身体測定、眼の検査、聴力測定、手洗い指導 歯ブラシ指導の実施</li> <li>・保育環境の日々の清掃、衛生管理、整理整頓</li> <li>・自園給食での栄養バランスの改善、アレルギーの細かい対応</li> <li>・窓を開けて、こまめな換気</li> <li>・感染症等が出た際には、園内の消毒を徹底し、感染拡大をふせぐ。家庭でもできる消毒や処理の仕方を保護者と共有する。</li> <li>・夏は蚊取り線香を数か所おき、子どもたちには虫よけスプレーやミストをこまめに使う。</li> <li>・保育室や園庭で危険な場所を職員全員把握し、子どもの年齢と動線を考えた遊び方、どこでどのように見守るのか、どのような声掛けをどのタイミングでするのが効果的かを考え、実行する。</li> <li>・ヒヤリハットの報告と職員間の共有を必ず行い、どの部分で抜けがあるのかを改善していきながら、危機管理のスキルを高める。</li> </ul>	<p>【健康管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、保育中、給食前やおやつ前、降園時に子どもの体調をしっかりと確認した。</li> <li>・定期検診以外にも、看護師に歯ブラシ指導、手洗い指導、聴力、視力検査、運動機能検査などを工夫して、子どもたちが集中できるよう検査してもらっている。</li> </ul> <p>【衛生管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室や共有する場所、特に玄関・トイレは、清潔できれいな場所として、常時保持できるよう心掛けている。トイレトレーニング中の子どもたちにとっても、爽やかな雰囲気でも落ち着いた場所でもなくてはならない。</li> </ul> <p>【危機管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨の時、通園路が浸水しないよう日頃から雨水用の溝や排水溝の砂などを定期的に取り除く掃除をした。</li> <li>・バスが到着したら、添乗の先生と一緒に子どもたちが降りて来るのを確認し、添乗の先生は降りし忘れがないかバス内を点検した。</li> <li>・駐車場や駐輪場での利用の仕方やルールを、園だよりやクラスだよりでこまめに声掛けをして、事故なく皆が安全に使用できるように協力をお願いしている。</li> </ul>	<p>&lt;健康管理&gt;</p> <p>コロナをはじめ感染症が流行しています。毎日の時々の健康チェックは本当に大事になってきました。予防の基本である手洗い・うがいをきちんと当たり前のように励みができるよう徹底しましょう。</p> <p>看護師さんが常駐している園はあまり多くありません。先生にとっても保護者にとっても有難い存在ですね。</p> <p>&lt;危機管理&gt;</p> <p>最近、想定外の事象や事故が数多く報道されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨時のバス運行・運行時、園舎、駐車場などの対策をあらためて見直しましょう。</li> <li>・バスの事故も多発しています。乗降時・走行時の安全対策をみんなで話し合い、確認事項のチェックを徹底しましょう。</li> <li>・園への進入路、駐車場や駐輪場路では事故が起きやすく、特段の危機意識を保護者にも持っていただくことが大切です。いろいろな伝達方法でさらに徹底しましょう。</li> </ul>

--	--	--	--

## 今後の課題

- ・各保育者が他の保育を見て自分の保育を振り返る機会を増やす。他人の良い所を取り入れたり応用できるよう、保育者同士の意見交換をしながら、それぞれの保育力の向上を図る。
- ・近年増えつつある教育時間後の預かり保育を充実させる。クラスを超え、学年を超えた子どもたちの交流をしながら、皆が打ち解けて過ごせるよう、遊びを工夫する。
- ・ひとりひとりの特性が違う特別支援の必要な子どもへの理解を深める。接し方、配慮の仕方、家庭との連携、専門家からの保育者への助言、保護者とのカウンセリング、保護者同士の情報共有の機会の提供、子育て支援を含めた全般的な充実を目指す。

## 今後の課題について (平田先生コメント)

平田匡邦

コロナの感染者が増加してきました。  
感染対策では、基本的な手洗い・うがいの励行の他、子どもの健康状態・保育時の様子など、これまで以上に子どもの「観察」が重要になってきます。観察は保育内容のヒントを引き出すことができ、健康管理や子どもを具体的にほめる材料になります。  
保育者間のクラス見学は、積極的に実践していただきたいと思います。他の先生の保育方法には参考になることがたくさんあります。良いところはしっかり共有し、より良い保育を展開していただきたいと思います。  
また、先生間のコミュニケーションを活発にし、チームワークでいろいろな課題解決に当たって欲しいと願っています。